



設立記念助成プログラム オンライン説明会



※本資料は、設立記念助成プログラムのオンライン説明会で使用した資料です。



Contents

- 01 財団について
- 02 本プログラムの概要
- 03 助成対象となる活動
- 04 応募・選考のポイント
- 05 質疑応答



01

財団について

一般財団法人ひなた未来創造ファンドは、宮崎県で暮らす
こども・若者を取り巻く環境や地域のこれからについて考
える中で立ち上がった財団です。

設立記念助成となる本プログラムでは、私たちが最初に向
き合いたいと考えた「**こども・若者**」の環境をテーマ
としています。

最初に向き合う地域課題

これからの宮崎を担う「こども・若者」の環境を整えること



県外流出や少子高齢化、地域の活力低下といった社会課題は、日常の中で見過ごされがちな小さな違和感や、声になりにくい困りごとの積み重ねから生まれていると私たちは考えています。

そうした一つひとつの違和感や声に目を向けることが、「こども・若者」の環境を整え、未来につながるヒントになると考えています。

02

本プログラムの概要

設立記念助成プログラムの概要

- プログラム名：一般財団法人ひなた未来創造ファンド 設立記念助成プログラム
- 助成額：1団体あたり 上限30万円
- 採択件数：1～3件（予定）

※申請額を基本に、内容に応じて調整する場合があります

- 対象期間：2026年3月～9月末（約7ヶ月間）



こども・若者の声を起点に、 地域課題を明らかにし、解決しようとする活動

今回募集している活動は、こども・若者の声を起点に、地域課題を明らかにし、解決しようとする活動です。

ここで大切にしているのは、すぐに答えや解決策を出すことではなく、「何が起きているのか」「どんな声や違和感があるのか」を丁寧に見つめることです。



03

具体的な活動

本当の課題は何なのかを こども・若者の声を通して明らかにしていく

※本プログラムでは、必ずしも具体的な解決策の実施までを求めるものではありません。
こども・若者の声を通じて課題を明らかにし、次の一歩につながる気づきや問いを得るこ
とを重視しています。



活動の進め方

①
問いを
立てる

②
調査
リサーチ

③
課題を
特定する

④
解決策を
探す

次の
一歩へ

日常や活動をされている中で感じた違和感や疑問を、「なぜそうなっているのか？」という問いにしていけます。その問いを出発点に、調査やリサーチを行い、見えてきたことをもとに解決策を探り、次の一歩につなげていく、という流れです。

※この進め方は一例であり、すべてのステップを順番どおりに実施することを求めるものではありません。

団体や地域の状況に応じた柔軟な取り組みを想定しています。

活動の進め方

①
問いを
立てる

②
調査
リサーチ

③
課題を
特定する

④
解決策を
探す

次の
一歩へ

今回のプログラムでは、調査やリサーチを含めた取り組みのプロセスを、活動の中心として大切にしています。地域にはすでに多くの知見や取り組みがあり、課題の状況が見えている場合もあると考えています。そうした場合でも、こども・若者の視点から課題を捉え直し、背景や構造を深く掘り下げることは、重要な取り組みの一つです。その上で、解決策の検討や次の一歩につながる活動に取り組んでいただいで構いません。

※本プログラムでは、必ずしも調査から始めることや、具体的な成果の達成を求めるものではありません。活動を通じて得られた新たな気づきや問い、次への示唆を重要な成果であると考えています。

解決の前に大切にしたいこと

**解決を
急がない**

答えを焦らず
対話を通じて
解決の種を育てる

**すき間を
見つける**

届きにくい声に
耳を傾けて
違和感に目を向ける

皆さんの視点そのものを、このプログラムでは大切にしたいと考えています。
成果の大小よりも、対話や調査を通じたプロセスの中で得られる気づきや学びを重視します。

04

応募・選考のポイント

募集要項選考基準

助成趣旨との 合致性	本助成の趣旨に沿った内容であり、課題に対する想いや着眼点
計画の 実現可能性	目標設定が明確で、実施方法や計画・体制が現実的か
連携・協働	地域社会や外部団体との連携や協力、広がりが期待できるか
活動の 発展性	本助成を通じて得られた気づきや成果が、今後の活動や地域の 取り組みへと継続・発展していく見通しがあるか
経費の 適切性	助成金の使途が合理的で、計画に沿っているか

事業開始までの流れ

